

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に係る面談」
2. 日時：令和2年7月3日(金) 14時25分～14時55分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、猪俣上席安全審査官、中川
上席安全審査官

日本原燃(株)

小田 常務執行役員 再処理事業部副事業部長 他9名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)と新規制基準に係る再処理施設の今後の設計及び工事の計画の認可申請(以下「設工認申請」という。)に関し、これまでの設工認申請に係る面談(※1)を踏まえて資料の提示があった。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点を伝えた。

- ・耐震設計上の保守性を除外した評価の内容及び代表設備からの差分の説明の内容について、具体的に整理すること。
- ・その際、代表設備の当該類型における代表性、評価方針の適用範囲との関係等を整理すること。
- ・次回の説明においては、地震力の設定から設備機器の耐震評価までの一連の内容について、具体例を基に整理すること。
- ・これまでの面談において整理をすとしていた分割申請の体系等について、検討状況を適宜説明すること。

(3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「設工認申請における機器・配管系の耐震評価の説明物量について」

※1 令和2年6月10日の面談

「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に係る面談」